


課題 1.

教科書 pp.98 を参照して、前回の提出課題「生産計画」に平均を加えよ。右図の上半分のようになるだろう。(数値は各自で適当に入力しているためサンプルとは一致しない)

それができれば、図の下半分にあるように、売上数ではなく全体に対するパーセンテージを示す表を作成せよ。(この課題は提出しなくて良い)

具体的には例えば C15 セル(C列の15行目)には計算式として「=C5/C10」を指定すればよい。その計算結果である 0.2345 などの数字を 23% などの形式にするには pp.102 を参照。D15 から G15 セルに計算式を入力するには、教科書 pp.92 にあるオートフィル機能が利用できる。逐一手入力するのはタイプミスなどを防ぐ意味からも行うべきでない。なお、サンプルの C22 セルは手作業で「-」記号を入力している。

前回の提出課題を手元に保存していない者はマイコンピュータにある  からたどって、「生産計画見本2」と名づけられた Excel ワークシートを利用せよ。

課題 2.

パーセント表示に直した表に罫線をつけ、上図のように体裁を揃えてから印刷し、提出せよ。(Word にペーストして提出してもよい。) 罫線のつけ方は教科書 pp.106 参照。見本のとおりにならなくて良い。各自で見やすいと思える体裁に加工すること。必要なら教科書 pp.110 などを参考に行を挿入・追加するなどせよ。

課題 3.

前回に作成したネットワーク上の情報をもとにした統計表(決算報告など)のレポートを、グラフを利用してより判りやすくし、Word にグラフを貼り付けて仕上げよ。必要なら元となった数値の表も Word に含めよ。レポートにはコメントをつけ、どのような視点でどのように可視化し、どこに注目してグラフを評価すべきかをわかりやすく示すこと。

適当な統計データなどが見つからない場合は、レポートフォルダにある基礎実習アンケートの数値などを利用して良い。


参考までに、例えば渋谷区などは行政側から各種統計情報が提供されている。

<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/ku/statics/statics.html>


単純に <http://www.city.shibuya.tokyo.jp/> からたどっても各種の情報を得ることができる。これらの値はグラフ化しやすいだろう。

他に財務省 www.mof.go.jp、日本銀行 www.boj.or.jp など多くの統計情報を提供している。

参考：

マイコンピュータにある  に、kisoanq.xls と名前を付けた基礎実習アンケートのデータが置いてある。これを利用して以下のような分析が可能になる。

この Excel シートでは主として COUNTA(), COUNTIF() 関数が使われている。その内容を調べると、自分が統計処理をやる時に参考になるだろう。

どのような関数が用意されているかは市販の参考書などを見ることを勧める。簡単なものでよければ教科書 pp.99 などに示されている  関数貼り付け機能で現れるヘルプメッセージを見ても良い。